

質問紙調査の結果

全国学力・学習状況調査では、教科に関する調査と共に、生活習慣や学習環境に関する質問紙調査も行っています。

質問紙調査には、【児童生徒質問紙】による調査と【学校質問紙】による調査があります。

【児童生徒質問紙】

児童生徒を対象にした、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

【学校質問紙】

学校を対象にした、指導方法に関する取組や人的・物的教育条件の整備の状況等に関する調査

質問紙調査の結果分析を踏まえ、学校、保護者、地域（市民）が連携して、学力向上をはじめ、生きる力の育成に向けた取組を進めることが大切です。

▶▶▶ **学びの充実に向けて** - 思考力・判断力・表現力を育むために -

▶▶▶ **基本的な生活習慣** - 規則正しい生活をしましょう -

▶▶▶ **家庭学習** - 家庭学習を計画的にしましょう -

▶▶▶ **自尊感情・規範意識** - ほめて伸ばそう子どものこころ -

▶▶▶ **学校・家庭・地域の連携** - つながりを大切にしましょう -

▶▶▶ **学校組織の改善** - 学校の活性化をめざして -

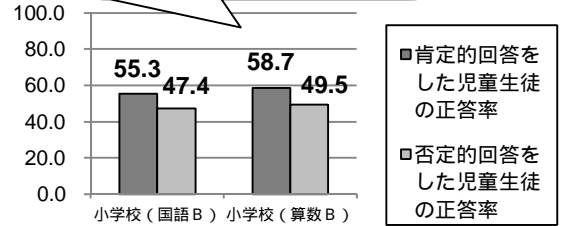
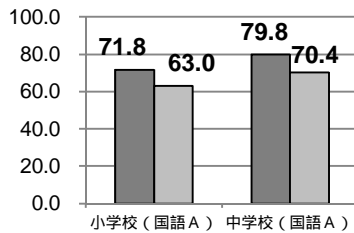
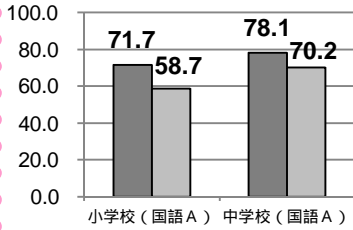
- 大阪市の結果から -

児 生 次の項目に肯定的に回答している児童生徒の方が、正答率が高い傾向にあります

自分の考えを発表する機会がありますか

読書は好きですか

話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか <新規項目>



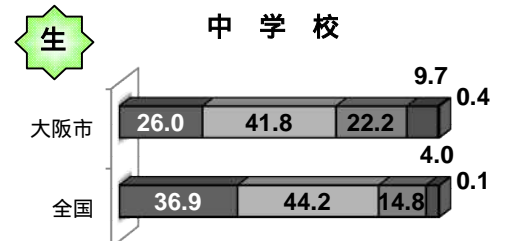
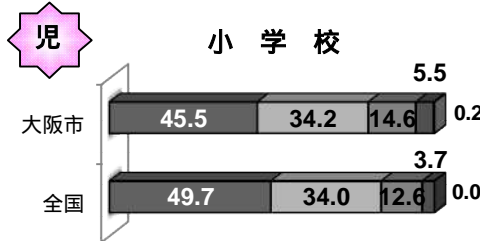
■ 肯定的回答をした児童生徒の正答率
□ 否定的回答をした児童生徒の正答率

- 全国と比較して -

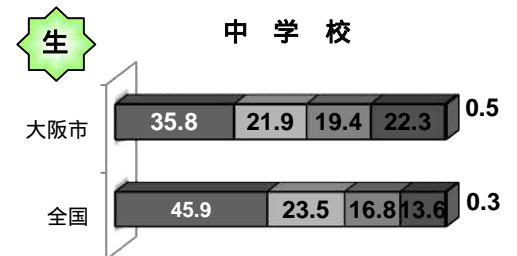
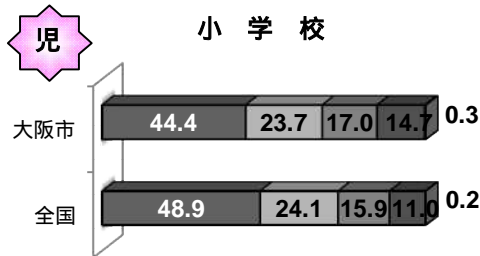
「自分の考えを発表する機会がある」「読書は好き」「話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる」について肯定的に回答している児童生徒の割合が低い傾向にあります

■ 当てはまる
□ どちらかといえば、当てはまる
□ どちらかといえば、当てはまらない
■ 当てはまらない
□ 他、無回答

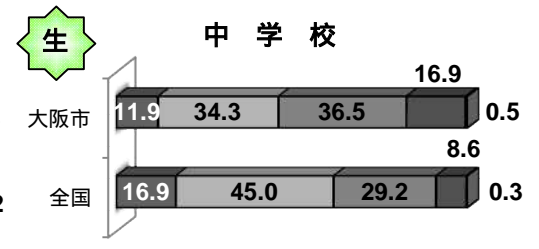
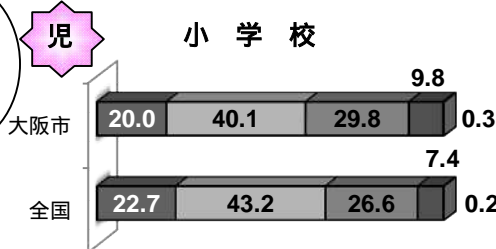
自分の考えを発表する機会がある



読書は好き



話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか <新規項目>

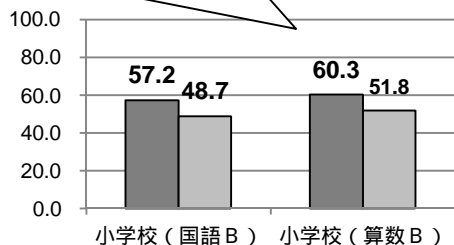


- 大阪市の結果から -

児

次の項目に肯定的に回答している児童の方が、正答率が高い傾向にあります

「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



■ 肯定的回答をした児童の正答率
□ 否定的回答をした児童の正答率

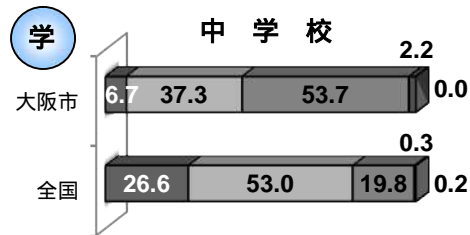
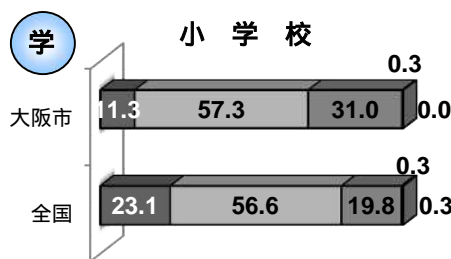


- 全国と比較して -

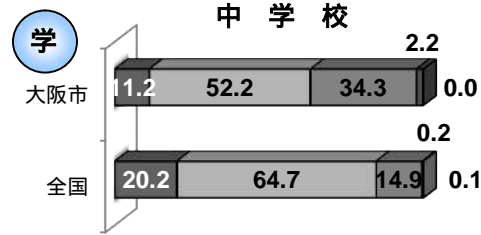
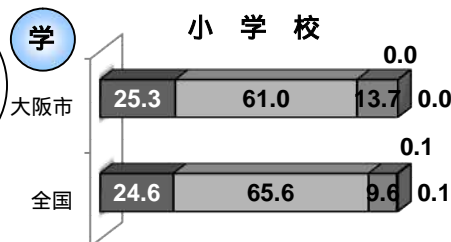
「総合的な学習の時間において、探究の過程（課題の設定 情報の収集 整理・分析 まとめ・表現）を意識した指導をした」「各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた」学校の割合が低い傾向にあります

■ よく行った
□ どちらかといえば、行った
■ あまり行っていない
■ 全く行っていない
■ 他、無回答

総合的な学習の時間において、探究の過程を意識した指導をした

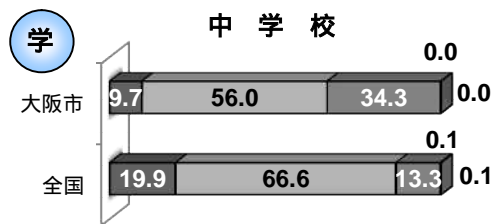
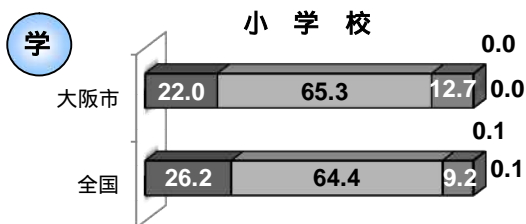


各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた<新規項目>



全国と比較して、「自分で調べたことをわかりやすく文章に書かせる指導をした」学校の割合が低い傾向にあります

自分で調べたことをわかりやすく文章に書かせる指導をした



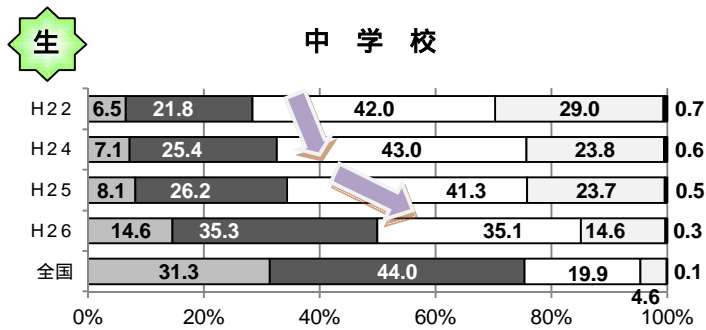
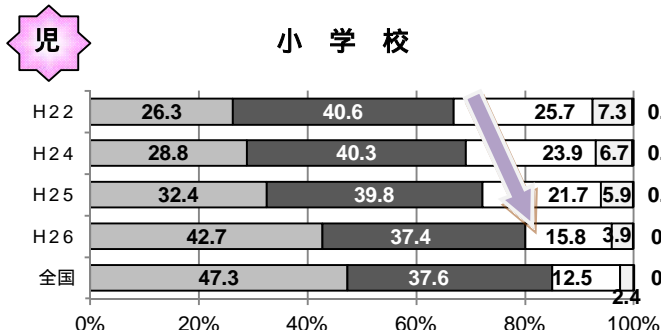
■ よく行った
□ どちらかといえば、行った
■ あまり行っていない
■ 全く行っていない
■ 他、無回答

- 大阪市の結果から -

「学級やグループで話し合う活動を授業などで行った」について肯定的に回答している児童生徒の割合は年々増加していますが、全国と比較して低い傾向にあります

話し合う活動を授業などで行った

当てはまる どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない 当てはまらない
 他、無回答



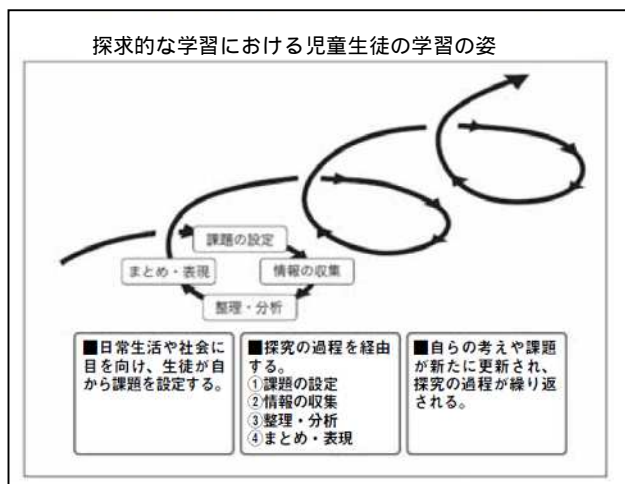
学校で

自分の考えを説明する場面や、グループで互いに考えを伝え合う場面等を取り入れた授業づくりを進めます。(言語活動の充実)

ICT機器等を活用し、協働的な学びを進めます。

学校図書館を整備し、ディスプレイの工夫を行う等、読書意欲の向上を図ります。

「総合的な学習の時間」では、右のような探求の過程(課題の設定 情報の収集 整理・分析 まとめ・表現)を意識した学習活動を行い、論理的に考え、他者に分かりやすく表現するような実社会で活用できる能力を育みます。



家庭で

学校で学んだことを振り返り、生活の中で活用してみましょう。新しい発見につながります。「なぜだろう」とか「これはおもしろいな」という子どものつぶやきに耳を傾け、話題に取り上げましょう。

効果があった取組例

朝の一斉読書や、国語科の授業における並行読書(単元の学習中に、教材文と同じ作者や同じテーマの本を読むこと)に取り組んでいます。電子黒板や書画カメラ(OHC)で子どものノートやワークシートを写し、話し合い活動を深めています。地域の特色を生かした教材を開発し、「総合的な学習の時間」を充実させています。

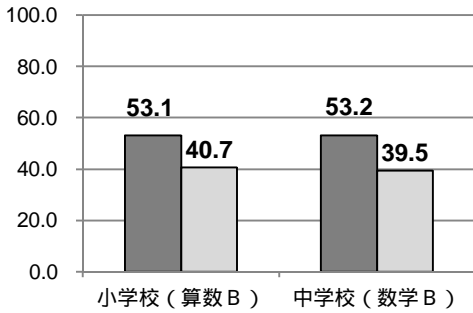
大阪市の取組

「言語活動の充実」(P.35) 「ICTを活用した教育の推進」(P.36)
 「学習教材データ配信」(P.37) 「放課後ステップアップ事業」(P.37)
 「学校元気アップ地域本部事業」(P.38)

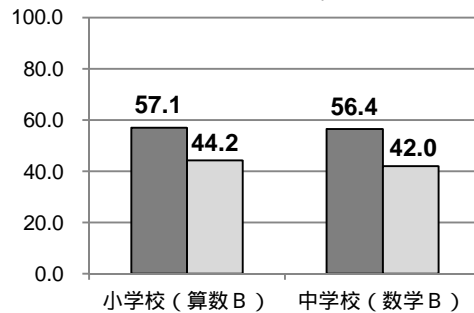
- 大阪市の結果から -

児 生 次の項目に肯定的に回答している児童生徒の方が、全ての教科で平均正答率が高い傾向にあります

朝食を毎日食べていますか



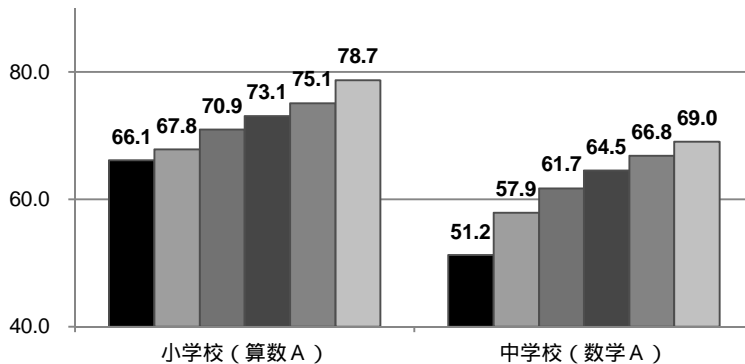
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



■ 肯定的回答をした児童生徒の正答率
□ 否定的回答をした児童生徒の正答率

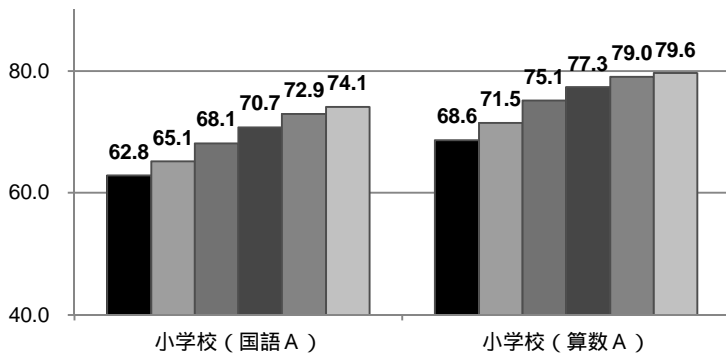
児 生 「携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間」「テレビゲームをする時間」が少ないほど平均正答率が高い傾向にあります

普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか



■ 4時間以上
■ 3時間以上、4時間より少ない
■ 2時間以上、3時間より少ない
■ 1時間以上、2時間より少ない
■ 30分以上、1時間より少ない
□ 30分未満

普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか



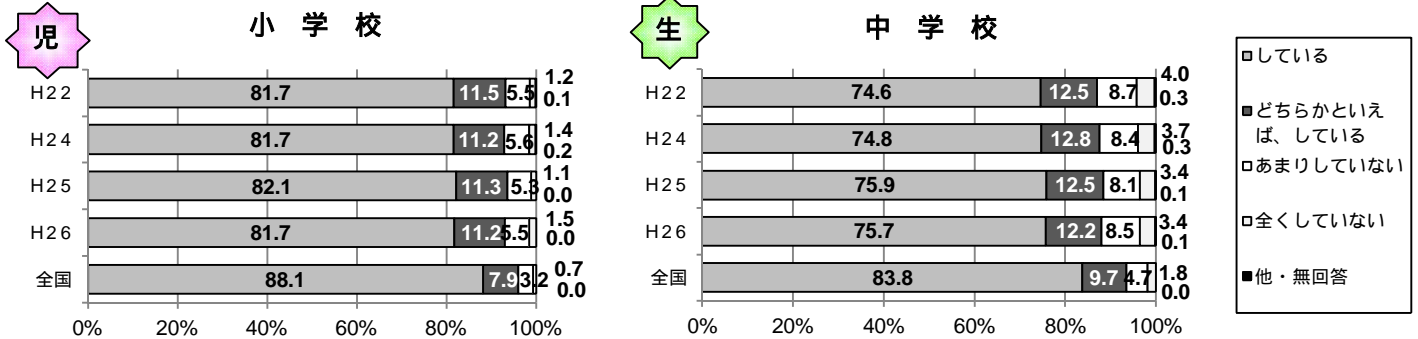
■ 4時間以上
■ 3時間以上、4時間より少ない
■ 2時間以上、3時間より少ない
■ 1時間以上、2時間より少ない
■ 30分以上、1時間より少ない
□ 30分未満



- 全国と比較して -

- ・「朝食を毎日食べている」について肯定的に回答している児童生徒の割合は、全国と比較して低い傾向にあります
- ・「携帯電話やスマートフォンの使用時間」や「テレビゲームをする時間」が長い傾向にあります

朝食を毎日食べている



学校で

学校全体で、基本的な生活習慣の形成に係る取組を進めます。(あいさつ、時間を守る等)
 学校・家庭で身に付けるべき基本的な生活習慣を共有します。(懇談会や学校便り等)
 朝食やバランスに配慮した食事の大切さについて指導し、食育の推進を図ります。

家庭で

毎日の家庭での生活を子どもと共に振り返りましょう。
 携帯電話での通話やメール、インターネットの使用やゲームをする時間等、家庭で相談し、ルールを作りましょう。
 毎日朝食をとり、元気な一日のスタートをきりましょう。
 早寝早起きをし、規則正しい生活を心がけましょう。
 家族で食事をとりながら、団らんを楽しみましょう。
 地域の行事等に、積極的に参加しましょう。



効果があつた取組例

家庭での学びを進めるための手引き(「学習時間のめやす」「早寝早起き」「朝食をとる」等の基本的な生活習慣の定着を目的としたもの)を作成し、保護者に配布しています。
 全校一斉「朝のラジオ体操」を行い、気持ちよく学習のスタートがきれるようにしています。
 中学校で基本的な生活習慣のリズムを身につけるよう、小学校の連絡ノートのように「生活ノート」を作成し、学校や家庭での生活を振り返り、規則正しい生活になるよう取り組んでいます。
 食育に関する通信を子どもや保護者に配布し、健康や食事についての意識の向上を図っています。

大阪市の取組

「幼保小の連携」(P.40)
 「学校キャラバン隊」(P.42)